



- December -



おかむら通信 248 号

令和 7 年 12 月号

♡ご挨拶

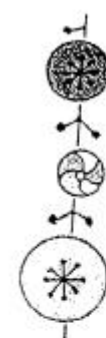
先月は、やること、いっぱい、更に外国視察ツアーあり、緊急手術あり、めっちゃきつかった。帰ってから、向こうの国の方の人生感、医師たちの思いもかけない優秀なレベル、患者中心、体を張って、貧困な方・弱者を思いやる気持ちのたかさに驚きました。世界は行ってみなければわからない、痛感しました。

🌸 今月の言葉

世界は変わっている刻々と、知らないのはわが国の民衆？とならないようにね。
できれば若者たちよ、武者修行を、また海外に出て世界の現実を見てきてほしい。

🌿 院長より

- ①お家で血圧を測るのは、とても医師にとって貴重な情報ですよ。
- ②7月にいった韓国や先月に行ったフィリピンで日本との違い、もろに感じました。パワフル・あかるい・やさしい・前向き・いつの間にかいろいろ進歩している。
- ③うちでは PACS：各種の画像など検査情報がまとめて診察室の電子カルテに集合されます、速やかな診断、治療に役立っています。この国の将来のシステムである、病院、クリニック同士の情報共有も実は可能なのです。
- ④膵癌の発生のチェックはCT、エコー、造影CT、腫瘍マーカーなどを総合的に見て判断しますが、さらに紹介先の病院では、MRCP、ERCP、内視鏡下エコー及び生検など行うことが多いです。
- ⑤胸部X P時、必要に応じてAIを使っています。無料です。
- ⑥先月迄は院長、疾病や治療（膵癌術後化学療法、一時的な糖尿病悪化、一時的な腹水貯留、膵液漏発生、ソケイヘルニア嵌頓、など）のため、休診でご迷惑をおかけしました。12月以降は、臨時休診はほとんどないと思います。
- ⑦いつも言うことですが、院長は「総合診療」を旨（むね）としています。触診、聴診器をつかい、脈診、患者さんのお話をできるだけ聞き、最後に何か質問がありますか？、と問いかけています。よろしくお願いします。
- ⑧血圧の値に戸惑っている方がときどきおられます。糖尿病、心血管系、腎疾患、超高齢の方々ではみんな目標値が違うのです。
- ⑨院長がお願いしたいのは、世の中にあふれかえる情報にながされるな、物事はすべて自分で考えよ、受け身でなく、前向きに行動せよ、もっと人を信じよ。です。





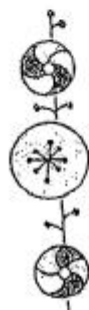
⑩病気は、そのほとんどが症状がないところから始まっているのですよ。当院ではあらゆる努力をして事前に隠れた病気を発見します。

＜ 院長の 11 月の院内外の活動報告 ＞

/06 (木) S T病院外科、診察と採血 化学療法再開

/07 (金) ジムで右鼠経ヘルニア発見 ヘルニアバンド装着 (/10 に)

/11 (火) M S I センター外科 T 副院長にヘルニア手術を依頼



.....
 </13 (木) からフィリッピン視察旅行 (マニラとデュマゲッティ) >

/14 (金) ◎マニラ；イントラムロスの遺跡・教会など見学

◎UERM 大学 (フィリッピン国内で NO1 の医療施設) 医学部視察はセブを中心におそった 3 つの台風・地震。洪水により中止になりました。

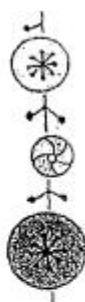
◎Amazing rotary club とミーティング 院長が代表としてスピーチ

/15 (土) ◎Dumaguette rotary club とポリオ撲滅イベント

/16 (日) ◎カーサミアニ教会、孤児院にて 神父さんたちと懇談、子供たちと交流、個人的にも献金

◎G P 総合診療医 Ruiz と懇談/開業医・病院勤務・当直・研究室勤務 70 人以上/日の患者を診察し特に貧困層、災害 (台風 3 つ、地震、洪水) がひどかったセブ地方のひとつと、普段はもともとかなりの救急患者も診ている。時に、診療費も取らないこともある。総合診療医としての管理の実力には驚いた。約 2 時間半議論、食事もとらないで。彼は 36 歳です。

/17 (月) 夜 帰国。



/19 (水) 松戸市医師会 院内感染講習会 午後 7 時より

/20 (木) S T病院外科、診察 採血

/21 (金) M I S センター外科 T 副院長受診、術前検査施行

/27 (木) S T病院外科 急遽、造影 C T 検査脾液漏も大分縮小

/28 (金) M S I センター外科 入院・午後手術 受ける

/29 (土) M S I センター外科 経過良好にて退院。傷口の痛みはきつい。

/30 (日) 11 月分レセプト作業、おかむら通信作成。



インフルエンザ・コロナもまだまだ流行
 しています。
 心配事は ご相談して下さいね。
 担当 森でした。